

鉱 工 業 指 数 參 考 図 表 集
(2025 年 12 月 速 報)

2026 年 1 月 30 日

経済解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

2025年12月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	101.8	98.9	98.3	106.2
前月比	-0.1%	-1.7%	1.0%	1.9%
指数水準	2025.8 100.6以来 ①2020.5 87.6 ②2020.6 89.4 ③2020.4 95.2	2025.1 98.5以来 ①2020.5 87.2 ②2020.6 90.7 ③2020.4 93.7	2025.10 100.3以来 I 2023.7 105.7 II 2023.5, 6 105.5 III 2020.1 105.0	2025.9 106.5以来 I 2020.5 119.1 II 2020.6 111.5 III 2020.4 110.7
前月比の動き	2か月連続一 (2025.11～当月)	2か月連続一 (2025.11～当月)	2か月ぶり+ (2025.10以来)	2か月連続+ (2025.11～当月)
前月比幅	2025.11 -2.7%以来 ①2020.4 -10.0% ②2020.5 -8.0% ③2024.1 -7.0%	2025.11 -1.7%以来 (超) 2025.7 -2.1%以来 ①2020.4 -10.9% ②2024.1 -7.6% ③2020.5 -6.9%	2025.3 1.2%以来 I 2021.9 2.1% II 2022.2 1.8% III 2021.11, 2022.9 1.7%	2025.8 2.3%以来 I 2020.4 13.4% II 2020.3 10.2% III 2020.5 7.6%
前年同月比(原指数)	2.6% (106.8)	1.2% (105.5)	-2.7% (96.1)	-2.1% (99.1)
前年同月比の動き	2か月ぶり+ (2025.10以来)	2か月ぶり+ (2025.10以来)	11か月連続一 (2025.2～当月)	4か月連続一 (2025.9～当月)
前年同月比幅	2025.9 3.8%以来 I 2021.6 21.8% II 2021.5 19.3% III 2021.4 14.3%	2025.9 2.5%以来 I 2021.5 20.8% II 2021.6 18.6% III 2021.4 15.8%	2025.11 -4.1%以来 ①2021.1 -10.0% ②2021.4 -9.9% ③2021.3 -9.7%	2025.10 -2.2%以来 ①2021.5 -26.5% ②2021.4, 6 -21.4% ③2021.7 -13.5%

1) I～IIIは2020年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

2025年12月の鉱工業生産の基調判断

「生産は一進一退」

基調判断の推移

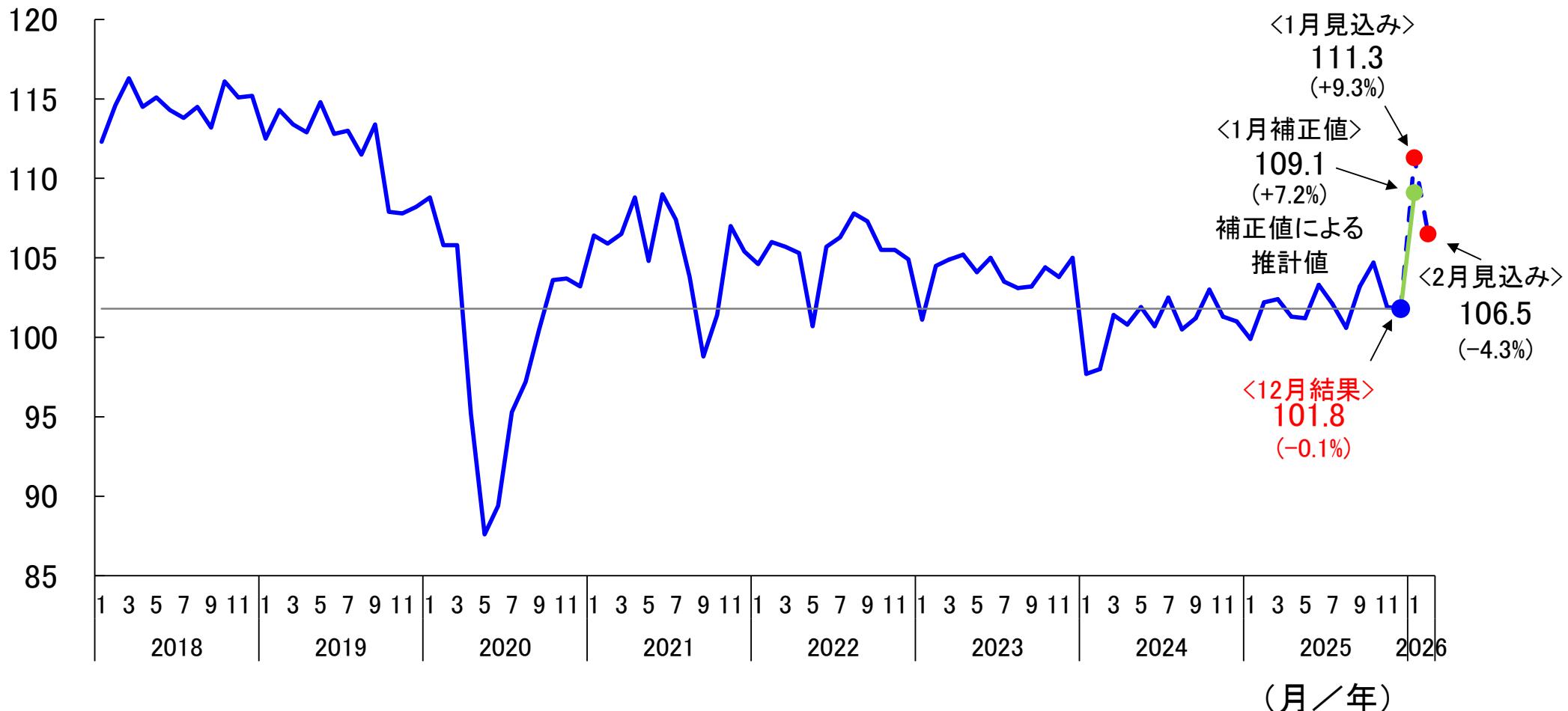
2020年6月	(↑)	「生産は下げ止まり、持ち直しの動き」
2020年7月	(→)	「生産は持ち直しの動き」
2020年8月～2021年7月	(↑)	「生産は持ち直している」
2021年8月～10月	(↓)	「生産は足踏みをしている」
2021年11月～2022年3月	(↑)	「生産は持ち直しの動きがみられる」
2022年4月	(↓)	「生産は足踏みをしている」
2022年5月	(↓)	「生産は弱含み」
2022年6月～7月	(↑)	「生産は一進一退」
2022年8月～9月	(↑)	「生産は緩やかな持ち直しの動き」
2022年10月	(↓)	「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」
2022年11月～2023年2月	(↓)	「生産は弱含み」
2023年3月～6月	(↑)	「生産は緩やかな持ち直しの動き」
2023年7月～12月	(↓)	「生産は一進一退」
2024年1月～6月	(↓)	「生産は一進一退ながら弱含み」
2024年7月～	(↑)	「生産は一進一退」

(注) 「↑」前回の基調判断から上方修正、「↓」前回の基調判断から下方修正、「→」表現変更

鉱工業生産指数の動向と先行き

- 2025年12月の鉱工業生産指数は、101.8(前月比-0.1%)と2か月連続の低下。

(2020年=100、季節調整済)



(注) 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、2020年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など
鉱工業全体の動きを示す代表的な指標

(注) 補正值は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鉱工業指数の動きをより適切に把握できるように試算したもの

(注) 見込みの前月比は、製造工業生産予測指数の前月比を記載している

2025年12月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(業種別)

- 2025年12月の鉱工業生産指数は、101.8(前月比-0.1%)と2か月連続の低下。

		業種・品目名	前月比	寄与度
【低下方向に寄与】 鉱工業生産を低下方向へ 引っ張った3業種の中でも 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	生産用機械工業	-1.9%	-0.18%pt
	品目	半導体製造装置 機械プレス	-14.4% -42.8%	-0.61%pt -0.03%pt
	2位の業種	化学工業(除. 無機・有機化学工業・医薬品)	-2.9%	-0.13%pt
	品目	仕上用化粧品 頭髪用化粧品	-13.2% -11.0%	-0.06%pt -0.06%pt
	3位の業種	パルプ・紙・紙加工品工業	-4.1%	-0.09%pt
	品目	印刷用紙(非塗工類) 新聞巻取紙	-21.8% -15.9%	-0.02%pt -0.02%pt
【上昇方向に寄与】 鉱工業生産を上昇方向へ 引っ張った3業種の中でも 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	汎用・業務用機械工業	7.3%	0.52%pt
	品目	コンベヤ 空気圧機器	60.5% 9.8%	0.24%pt 0.07%pt
	2位の業種	電気・情報通信機械工業	2.7%	0.22%pt
	品目	半導体・IC測定器 超音波応用装置	59.7% 38.4%	0.14%pt 0.05%pt
	3位の業種	自動車工業	1.4%	0.17%pt
	品目	普通乗用車 シャシー・車体部品	2.7% 4.8%	0.13%pt 0.04%pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

2025年12月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(全体・財別)

＜全体＞

		品目名	前月比	寄与度
鉱工業生産を 低下方向に 引っ張った3品目	1位	半導体製造装置	-14.4%	-0.61%pt
	2位	モス型 IC (メモリ)	-36.2%	-0.29%pt
	3位	航空機用発動機部品	-5.4%	-0.09%pt
鉱工業生産を 上昇方向に 引っ張った3品目	1位	コンベヤ	60.5%	0.24%pt
	2位	フラットパネル・ディスプレイ製造装置	163.1%	0.24%pt
	3位	半導体・IC測定器	59.7%	0.14%pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

＜財別＝用途別＞

	解説	品目名	前月比	寄与度
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-1.2%	-0.25%pt
		仕上用化粧品	-13.2%	-0.06%pt
		頭髪用化粧品	-11.0%	-0.06%pt
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-0.5%	-0.24%pt
		モス型 IC (メモリ)	-36.2%	-0.29%pt
		航空機用発動機部品	-5.4%	-0.09%pt
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	0.9%	0.05%pt
		セメント	4.1%	0.02%pt
		橋りょう	14.3%	0.02%pt
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	2.5%	0.17%pt
		普通乗用車	2.7%	0.09%pt
		電気冷蔵庫	13.6%	0.01%pt
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	3.5%	0.56%pt
		コンベヤ	60.5%	0.24%pt
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	163.1%	0.24%pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

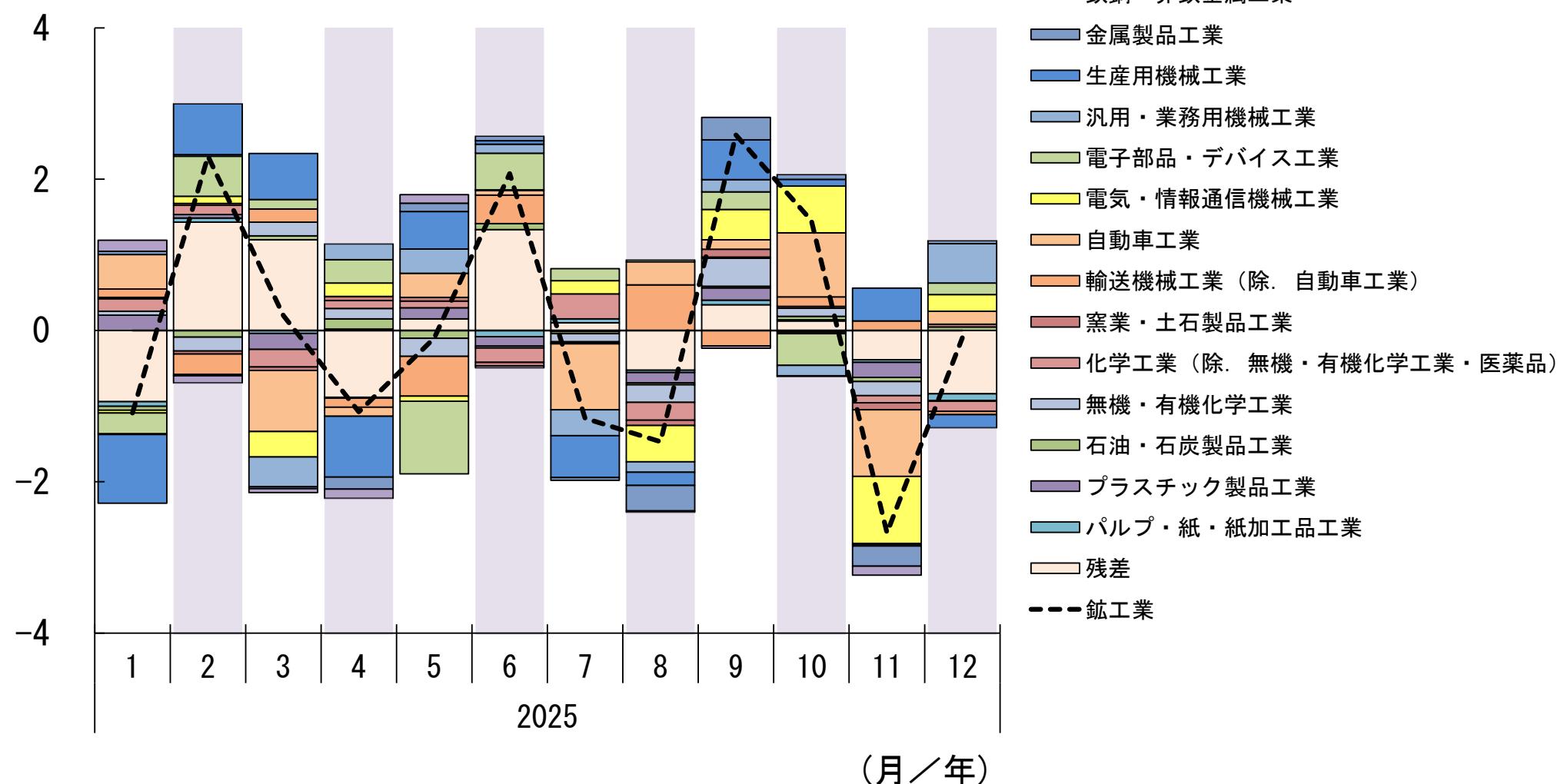
寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

鉱工業生産前月比 業種別の影響度合い

- 2025年12月の生産指数は、汎用・業務用機械工業などが上昇したものの、生産用機械工業などが低下したため、前月比-0.1%と低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

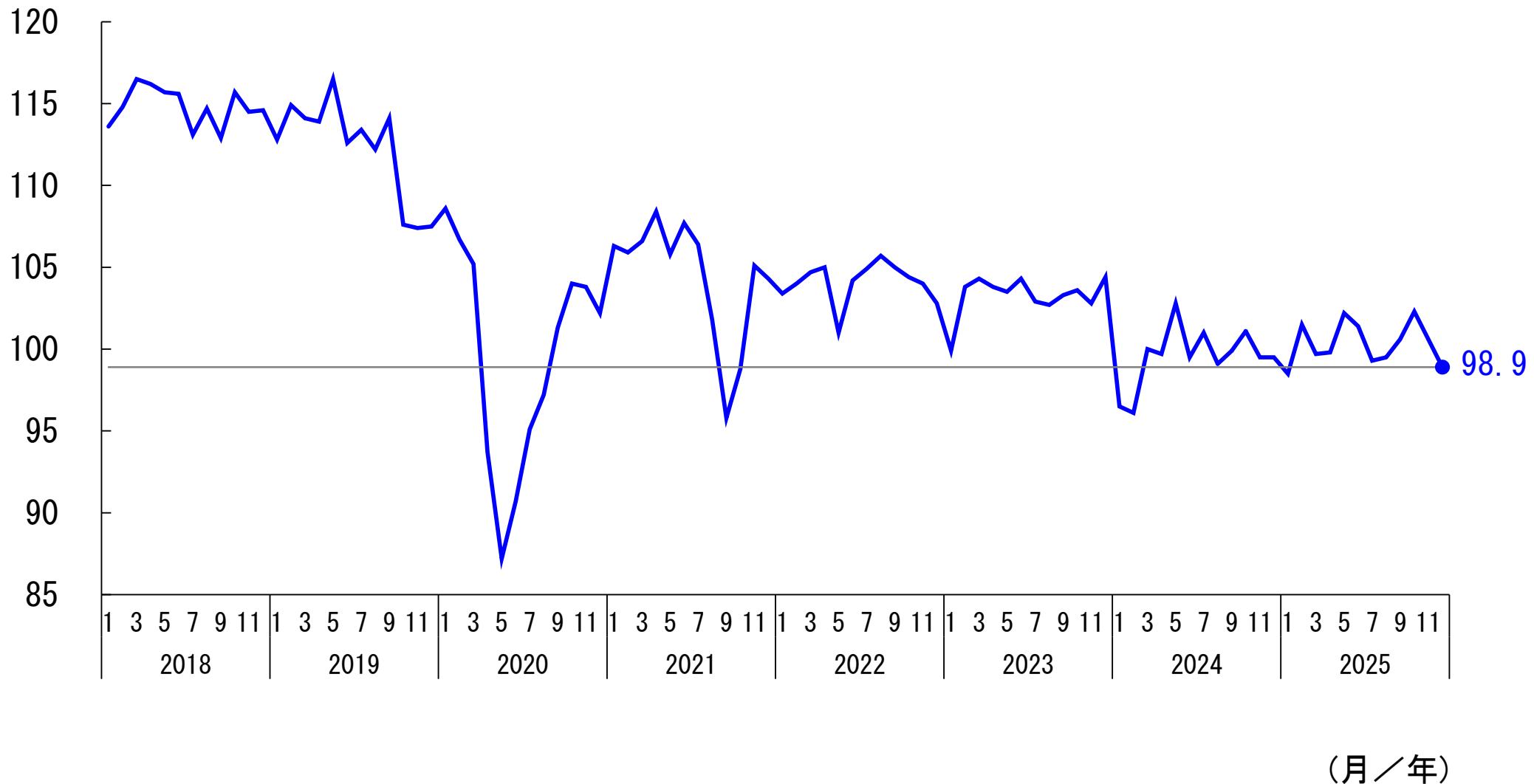


(注) 「残差」は、鉱工業生産全体の変動から主要14業種の影響度を差し引いたものである。

鉱工業出荷指数の動向

- 2025年12月の鉱工業出荷指数は、98.9(前月比-1.7%)と2か月連続の低下。

(2020年=100、季節調整済)



2025年12月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目(業種別)

- 2025年12月の鉱工業出荷指数は、98.9(前月比-1.7%)と2か月連続の低下。

		業種・品目名	前月比	寄与度
【低下方向に寄与】 鉱工業出荷を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	生産用機械工業	-4.5%	-0.37%pt
	品目	半導体製造装置	-15.6%	-0.55%pt
		ショベル系掘削機械	-8.3%	-0.10%pt
	2位の業種	自動車工業	-2.2%	-0.36%pt
	品目	普通乗用車	-2.3%	-0.16%pt
		小型乗用車	-2.7%	-0.03%pt
	3位の業種	鉄鋼・非鉄金属工業	-3.4%	-0.28%pt
	品目	電気銅	-14.5%	-0.09%pt
		亜鉛めっき鋼板	-12.0%	-0.06%pt
【上昇方向に寄与】 鉱工業出荷を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	電子部品・デバイス工業	7.1%	0.35%pt
	品目	固定コンデンサ	18.3%	0.09%pt
		電子回路基板	18.9%	0.08%pt
	2位の業種	汎用・業務用機械工業	4.4%	0.29%pt
	品目	コンベヤ	52.4%	0.17%pt
		空気圧機器	9.9%	0.06%pt
	3位の業種	パルプ・紙・紙加工品工業	1.1%	0.02%pt
	品目	段ボール原紙	3.3%	0.02%pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

2025年12月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目(財別)

	解説	品目名	前月比	寄与度
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-0.9%	-0.45%pt
		リチウムイオン蓄電池	-27.4%	-0.31%pt
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など家計で購入される製品	電気銅	-14.5%	-0.09%pt
		耐久消費財	-3.9%	-0.38%pt
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品	普通乗用車	-2.3%	-0.11%pt
		セパレート形エアコン	-3.8%	-0.03%pt
建設財	鉄骨やセメントなど建設投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	-1.5%	-0.20%pt
		半導体製造装置	-15.6%	-0.55%pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など家計で購入される製品	ショベル系掘削機械	-8.3%	-0.10%pt
		建設財	-0.7%	-0.04%pt
		複層ガラス	-7.0%	-0.01%pt
		非耐久消費財	0.9%	0.16%pt
		ガソリン	3.8%	0.05%pt
		乳液・化粧水類	6.6%	0.04%pt

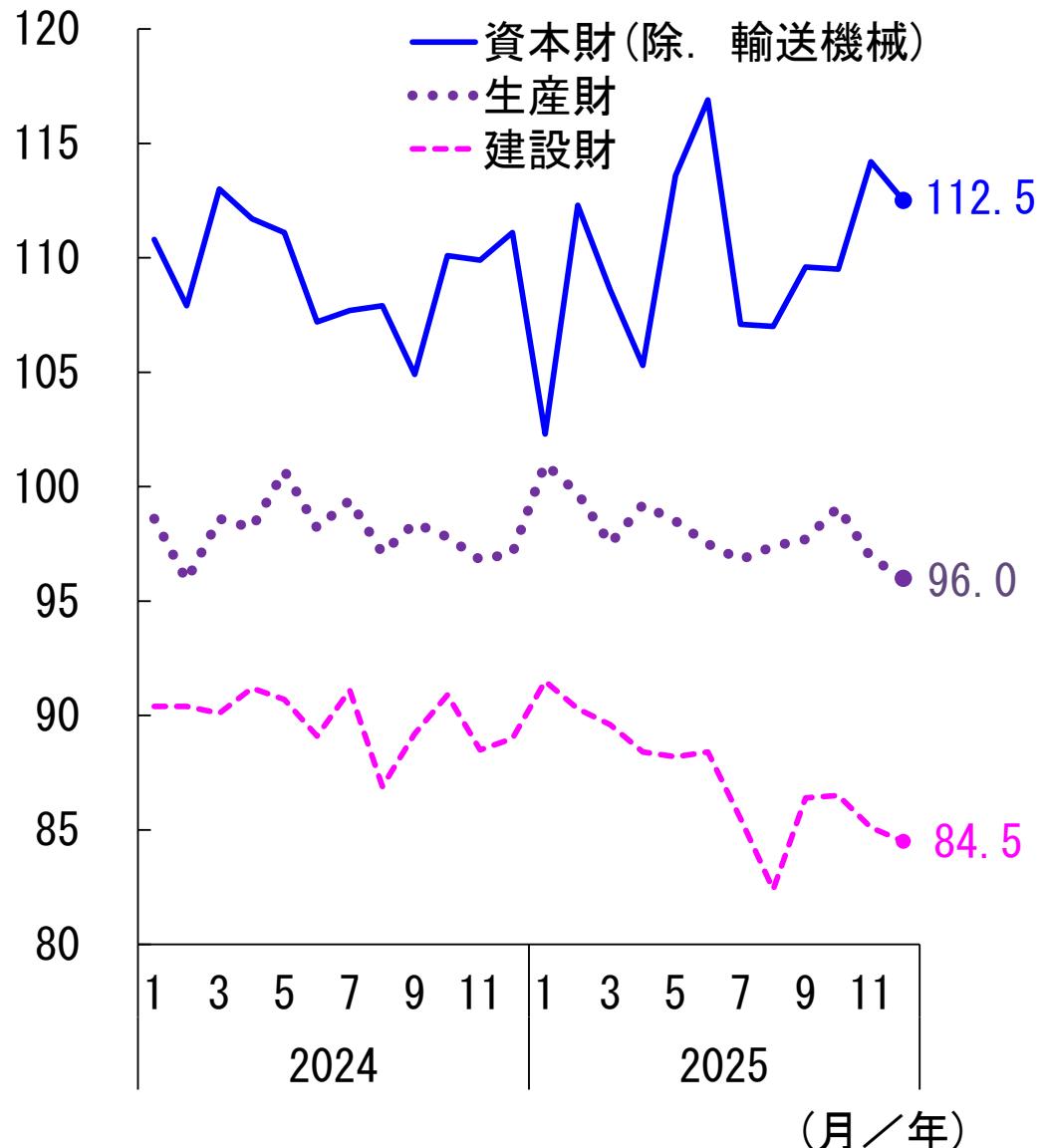
※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

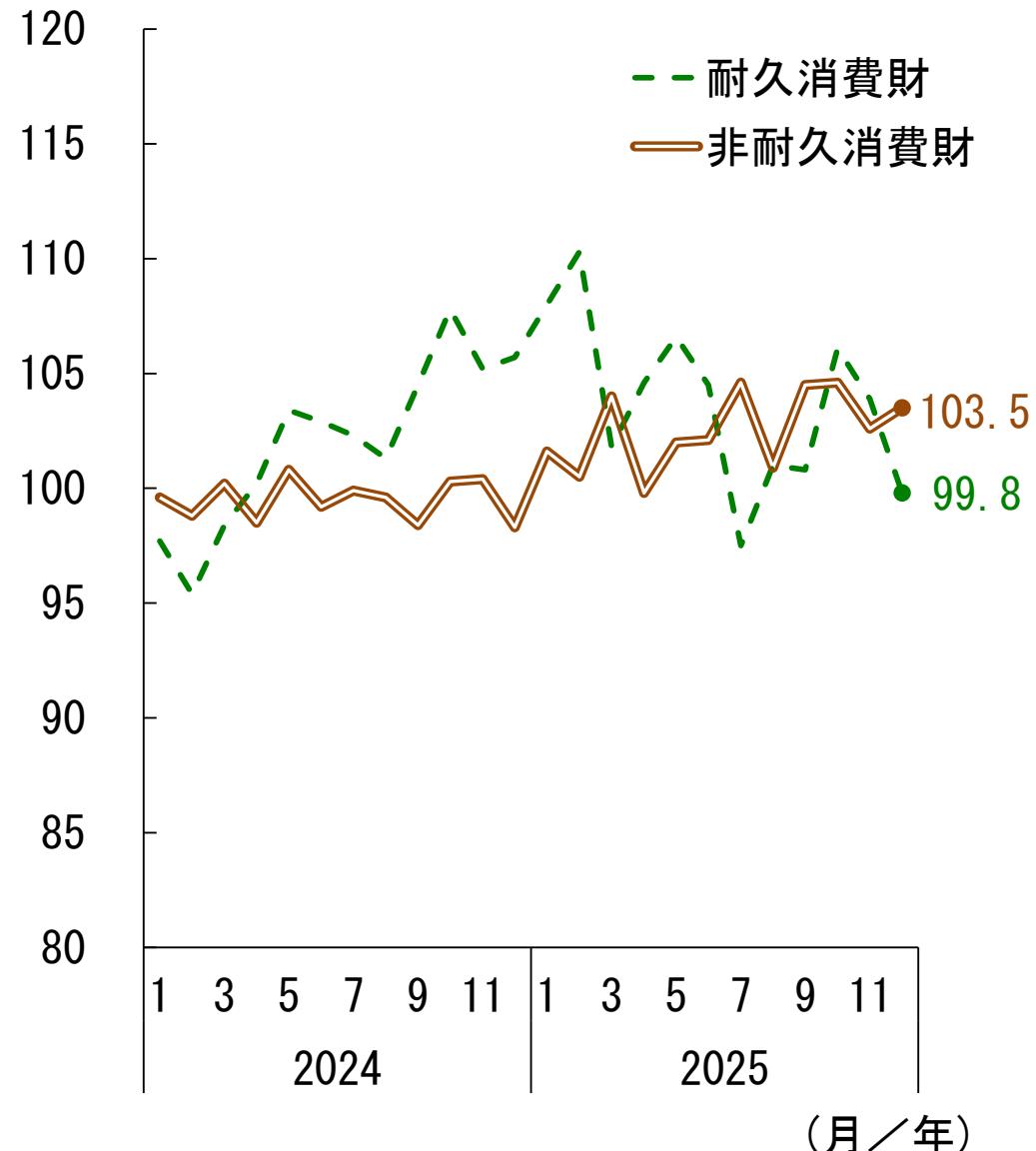
季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

財別出荷指數の動向

(2020年=100、季節調整済)



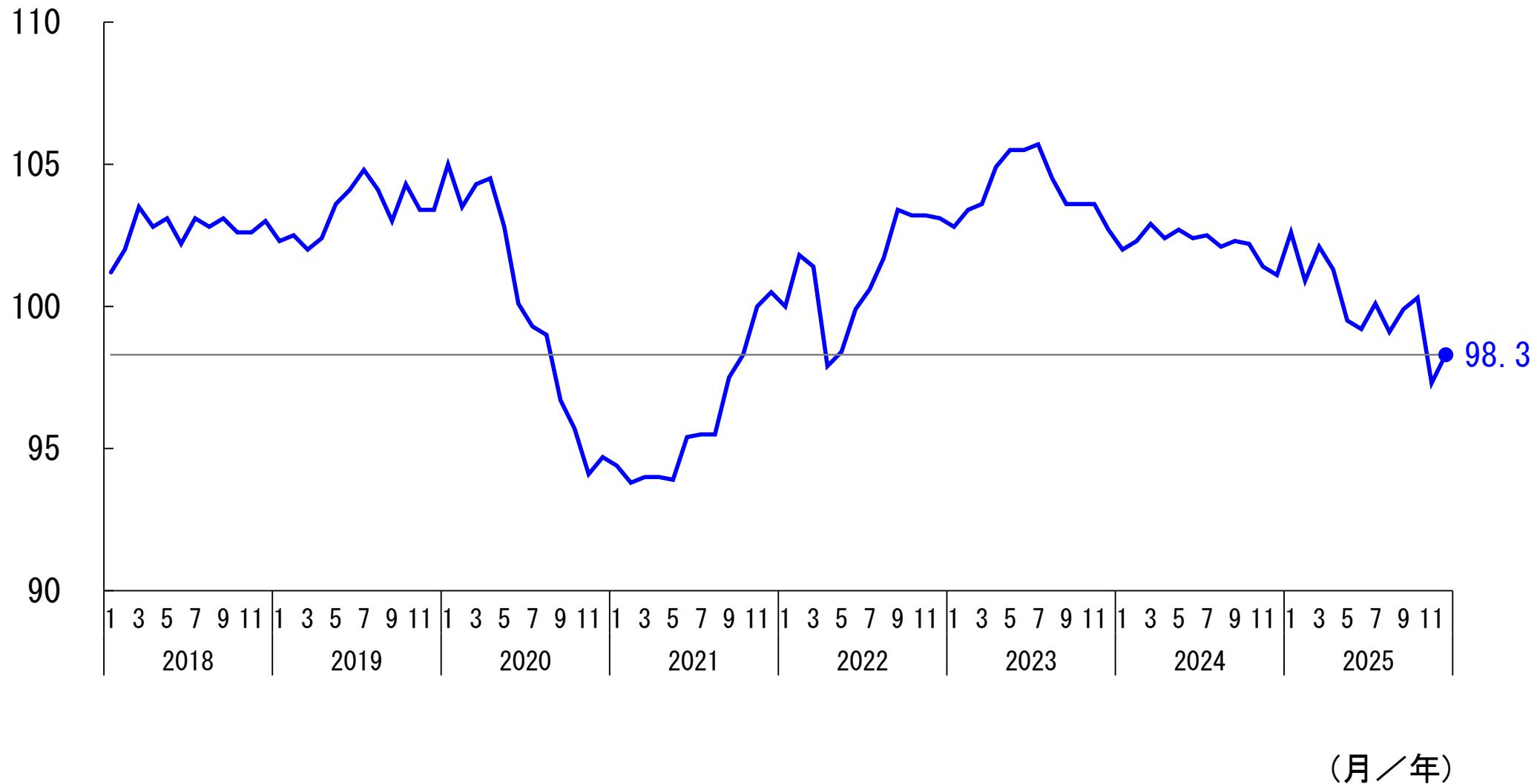
(2020年=100、季節調整済)



鉱工業在庫指数の動向

- 2025年12月の鉱工業在庫指数は、98.3(前月比1.0%)と2か月ぶりの上昇。

(2020年=100、季節調整済)



(月／年)

2025年12月の鉱工業在庫指数を大きく動かした品目(業種別)

- 2025年12月の鉱工業在庫指数は、98.3(前月比1.0%)と2か月ぶりの上昇。

		業種・品目名	前月比	寄与度
【上昇方向に寄与】 鉱工業在庫を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	自動車工業	9.4%	0.57%pt
	品目	普通乗用車	14.3%	0.47%pt
		小型乗用車	10.3%	0.06%pt
	2位の業種	電子部品・デバイス工業	7.0%	0.27%pt
	品目	トランジスタ 混成IC	8.4% 4.1%	0.07%pt 0.04%pt
		3位の業種	無機・有機化学工業	1.0%
	品目	触媒(石油化学品製造用)	18.9%	0.06%pt
		パラキシレン	34.5%	0.04%pt
【低下方向に寄与】 鉱工業在庫を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	電気・情報通信機械工業	-3.6%	-0.30%pt
	品目	リチウムイオン蓄電池	-11.9%	-0.20%pt
		ノート型パソコン	-4.8%	-0.04%pt
	2位の業種	化学工業(除.無機・有機化学工業・医薬品)	-2.2%	-0.14%pt
	品目	頭髪用化粧品	-4.6%	-0.04%pt
		仕上用化粧品	-3.6%	-0.04%pt
	3位の業種	パルプ・紙・紙加工品工業	-3.9%	-0.12%pt
	品目	印刷用紙(非塗工類)	-11.1%	-0.03%pt
		段ボール原紙	-5.0%	-0.03%pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

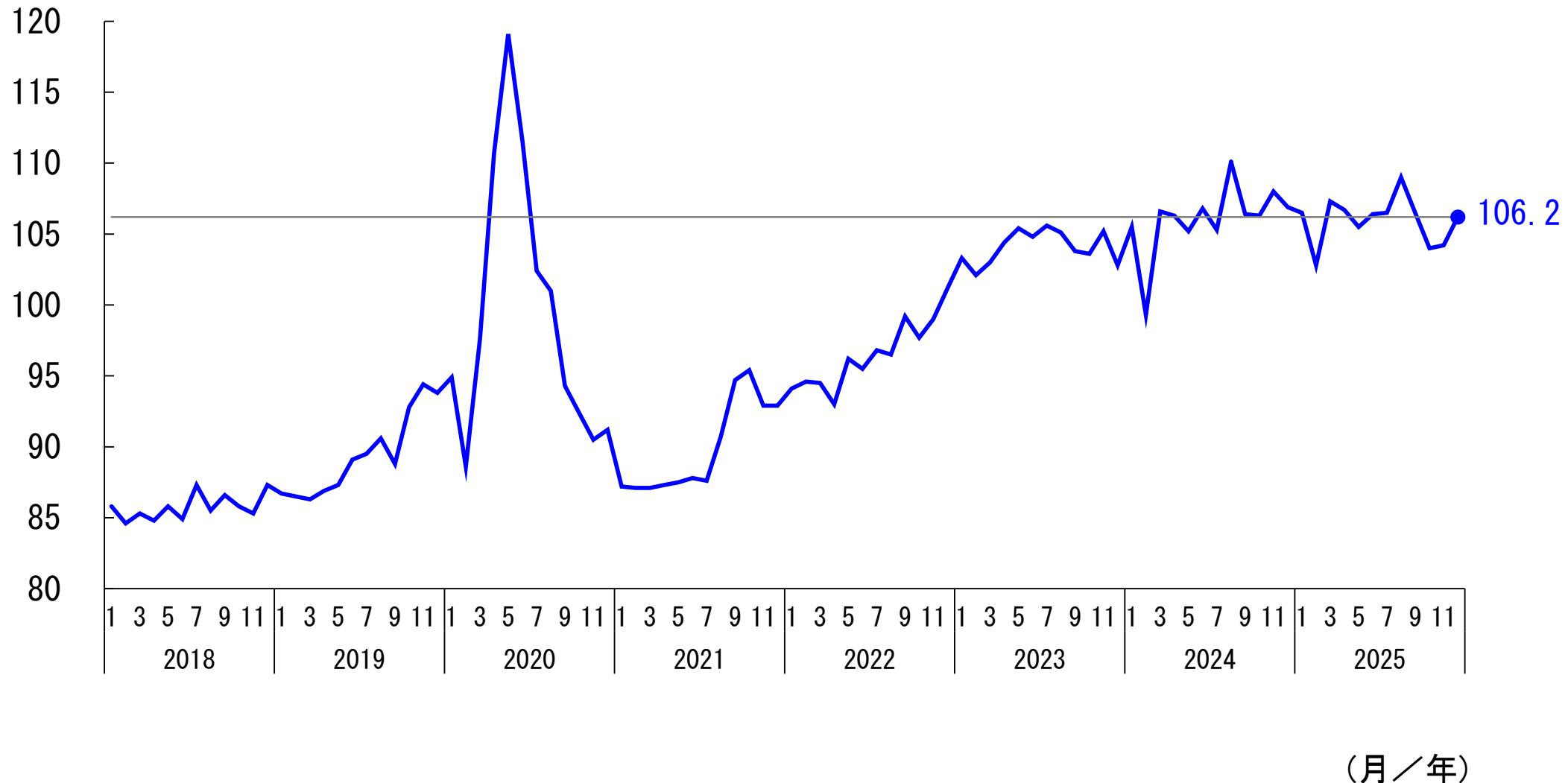
寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

鉱工業在庫率指数の動向

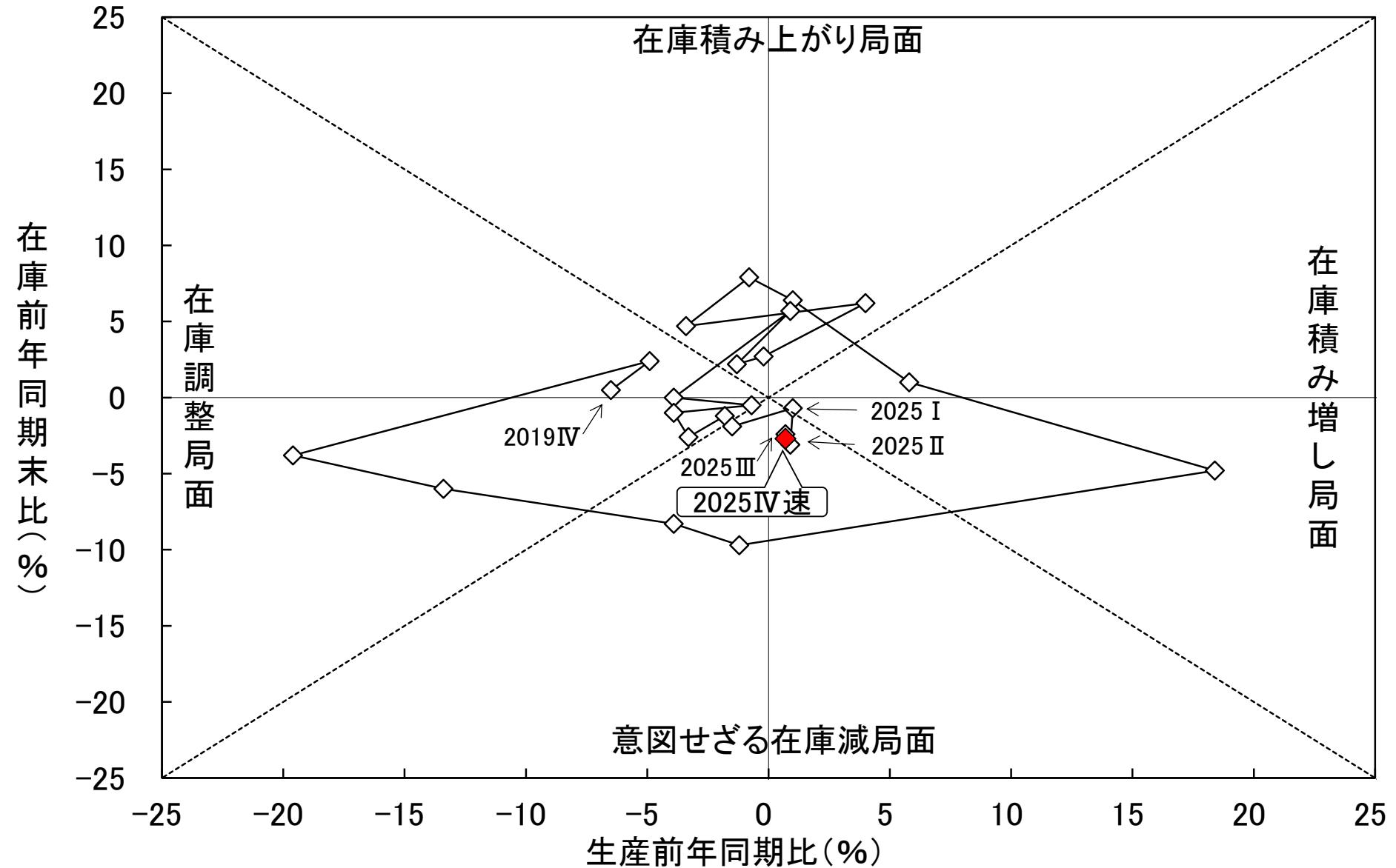
- 2025年12月の鉱工業在庫率指数は、106.2(前月比1.9%)と2か月連続の上昇。

(2020年=100、季節調整済)



(月／年)

鉱工業の在庫循環図



製造工業生産予測指數 時系列

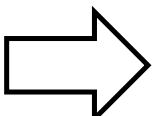
<製造工業>

2020年 = 100

年 月	季節調整済指數			前月比 (%)			実現率 (%)	予測修正率 (%)
	前月実績	当月見込み	翌月見込み	前月実績	当月見込み	翌月見込み		
2024年	11月調査	105.1	103.9	103.7	3.3	▲ 1.1	▲ 0.2	▲ 2.4
	12月調査	101.9	104.1	109.6	▲ 3.0	2.2	5.3	▲ 1.9
2025年	1月調査	103.6	108.7	107.8	1.7	4.9	▲ 0.8	▲ 0.5
	2月調査	105.3	108.1	105.5	1.6	2.7	▲ 2.4	▲ 3.1
2026	3月調査	106.0	106.6	106.7	0.7	0.6	0.1	▲ 1.9
	4月調査	104.8	106.2	110.3	▲ 1.1	1.3	3.9	▲ 1.7
	5月調査	102.6	111.8	108.0	▲ 2.1	9.0	▲ 3.4	▲ 3.4
	6月調査	105.5	105.8	105.1	2.8	0.3	▲ 0.7	▲ 5.6
	7月調査	103.6	105.5	106.3	▲ 1.8	1.8	0.8	▲ 2.1
	8月調査	102.7	105.6	105.3	▲ 0.9	2.8	▲ 0.3	▲ 2.7
	9月調査	101.4	105.6	106.9	▲ 1.3	4.1	1.2	▲ 4.0
	10月調査	105.3	107.3	106.3	3.8	1.9	▲ 0.9	▲ 0.3
	11月調査	105.5	104.2	102.1	0.2	▲ 1.2	▲ 2.0	▲ 1.7
	12月調査	100.8	102.1	110.3	▲ 4.5	1.3	8.0	▲ 3.3
	1月調査	103.3	112.9	108.0	2.5	9.3	▲ 4.3	1.2
								2.4

製造工業生産予測指標（当月、翌月の生産伸び率）

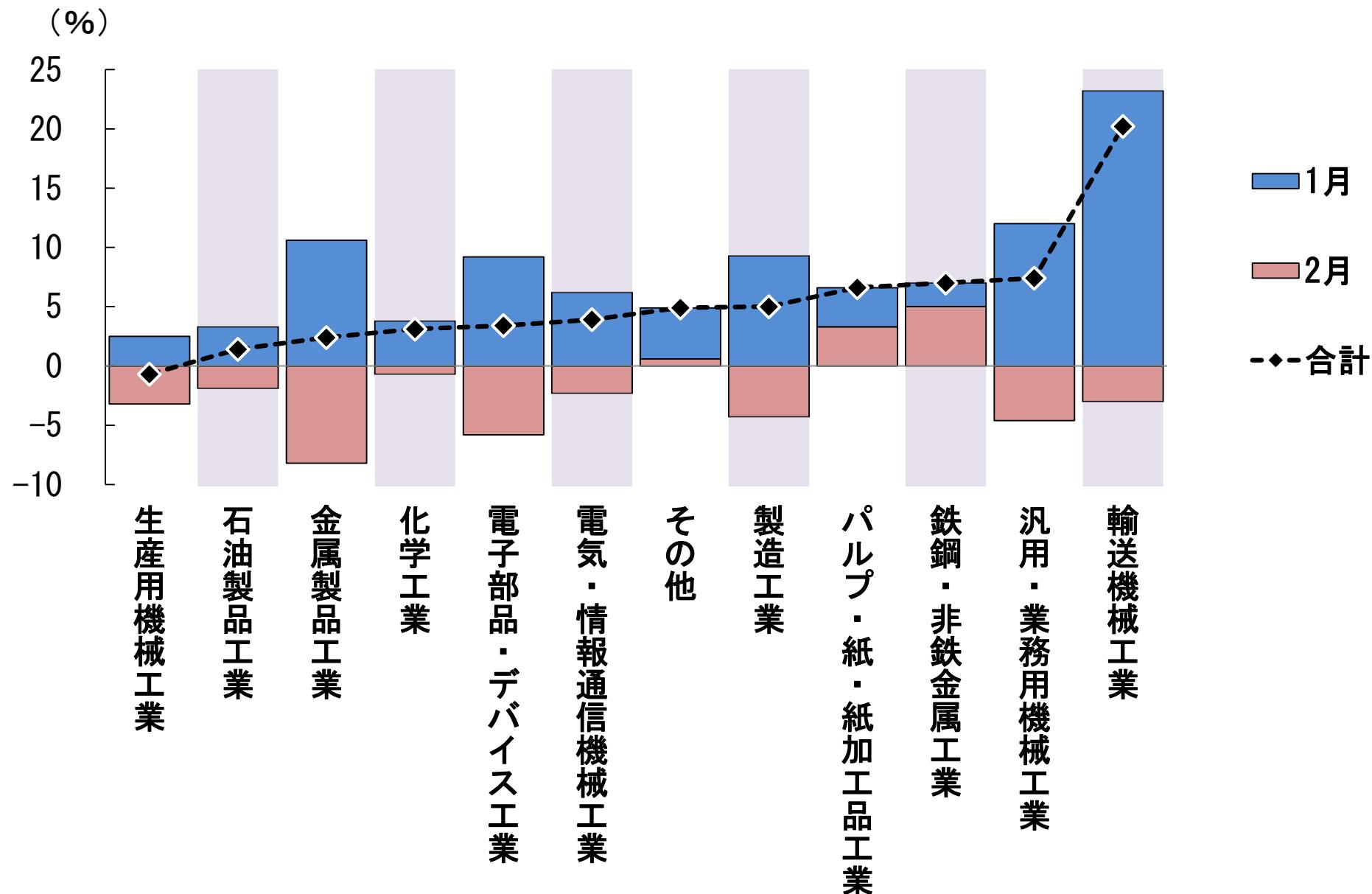
	12月調査 (前回)	1月調査 (今回)	1月調査 補正值
1月見込み	8.0 %	9.3 %	7.2 % (5.8%~8.6%)
2月見込み	—	-4.3 %	—



(参考) 前回調査の結果

	12月予測調査	12月補正值	実際の結果
			鉱工業生産指数
12月前月比	1.3 %	-0.6 % (-1.8%~0.6%)	-0.1 %

2か月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



2026年1月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種		低下寄与業種		横ばいの業種	
業種名	計画前月比	業種名	計画前月比	業種名	計画前月比
輸送機械工業	23.2%	—	—	—	—
汎用・業務用機械工業	12.0%	—	—	—	—
電子部品・デバイス工業	9.2%	—	—	—	—
電気・情報通信機械工業	6.2%	—	—	—	—
金属製品工業	10.6%	—	—	—	—
化学工業	3.8%	—	—	—	—
その他	4.3%	—	—	—	—
生産用機械工業	2.5%	—	—	—	—
鉄鋼・非鉄金属工業	2.0%	—	—	—	—
パルプ・紙・紙加工品工業	3.3%	—	—	—	—
石油製品工業	3.3%	—	—	—	—

(注) 業種の並びは、寄与（影響度）が大きい順。

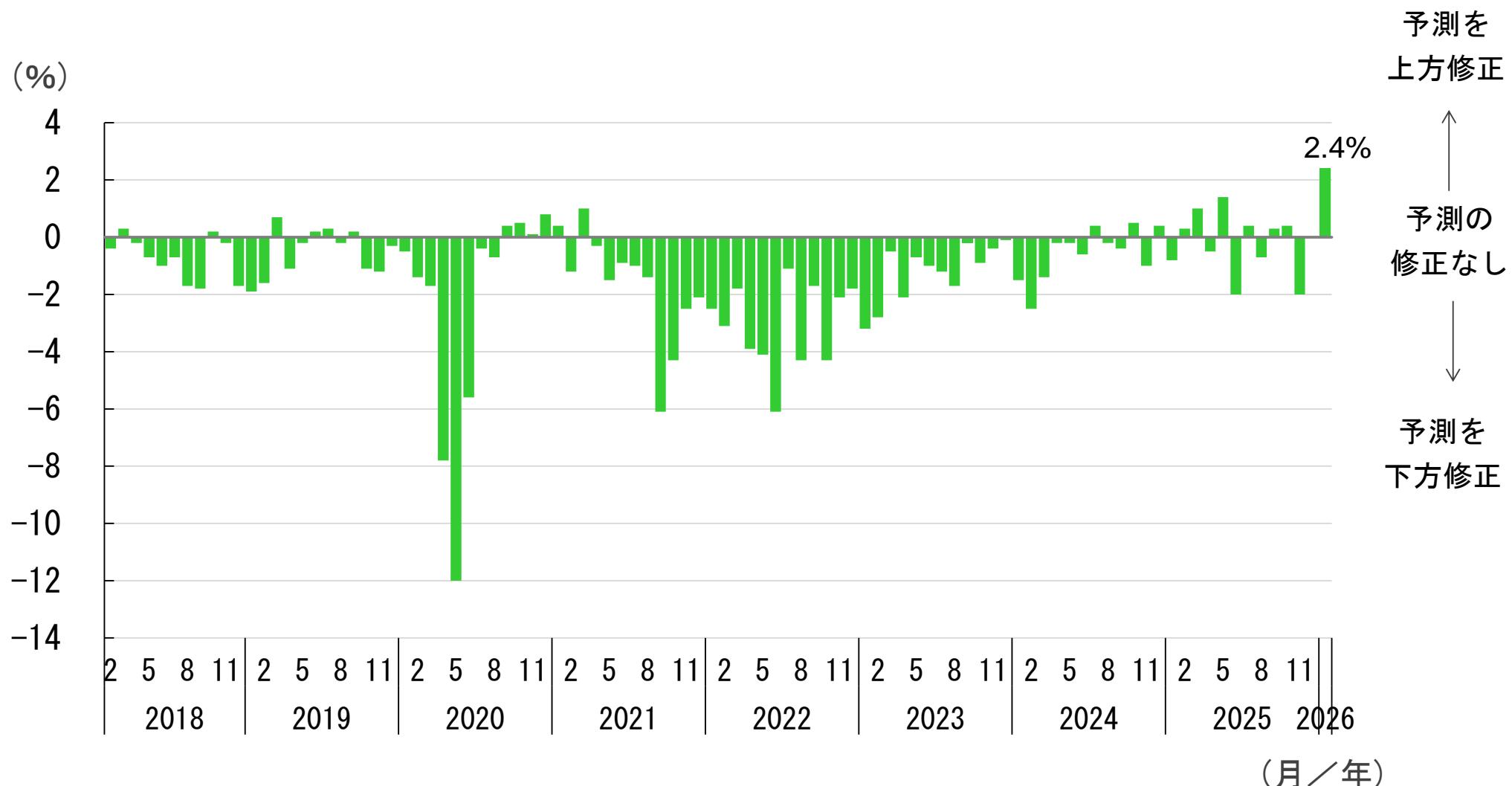
2026年2月生産計画の寄与順位表

低下寄与業種		上昇寄与業種		横ばいの業種	
業種名	計画前月比	業種名	計画前月比	業種名	計画前月比
輸送機械工業	-3.0%	鉄鋼・非鉄金属工業	5.0%	—	—
電子部品・デバイス工業	-5.8%	パルプ・紙・紙加工品工業	3.3%		
汎用・業務用機械工業	-4.6%	その他	0.6%		
金属製品工業	-8.2%				
生産用機械工業	-3.2%				
電気・情報通信機械工業	-2.3%				
化学工業	-0.7%				
石油製品工業	-1.9%				

(注) 業種の並びは、寄与（影響度）が大きい順。

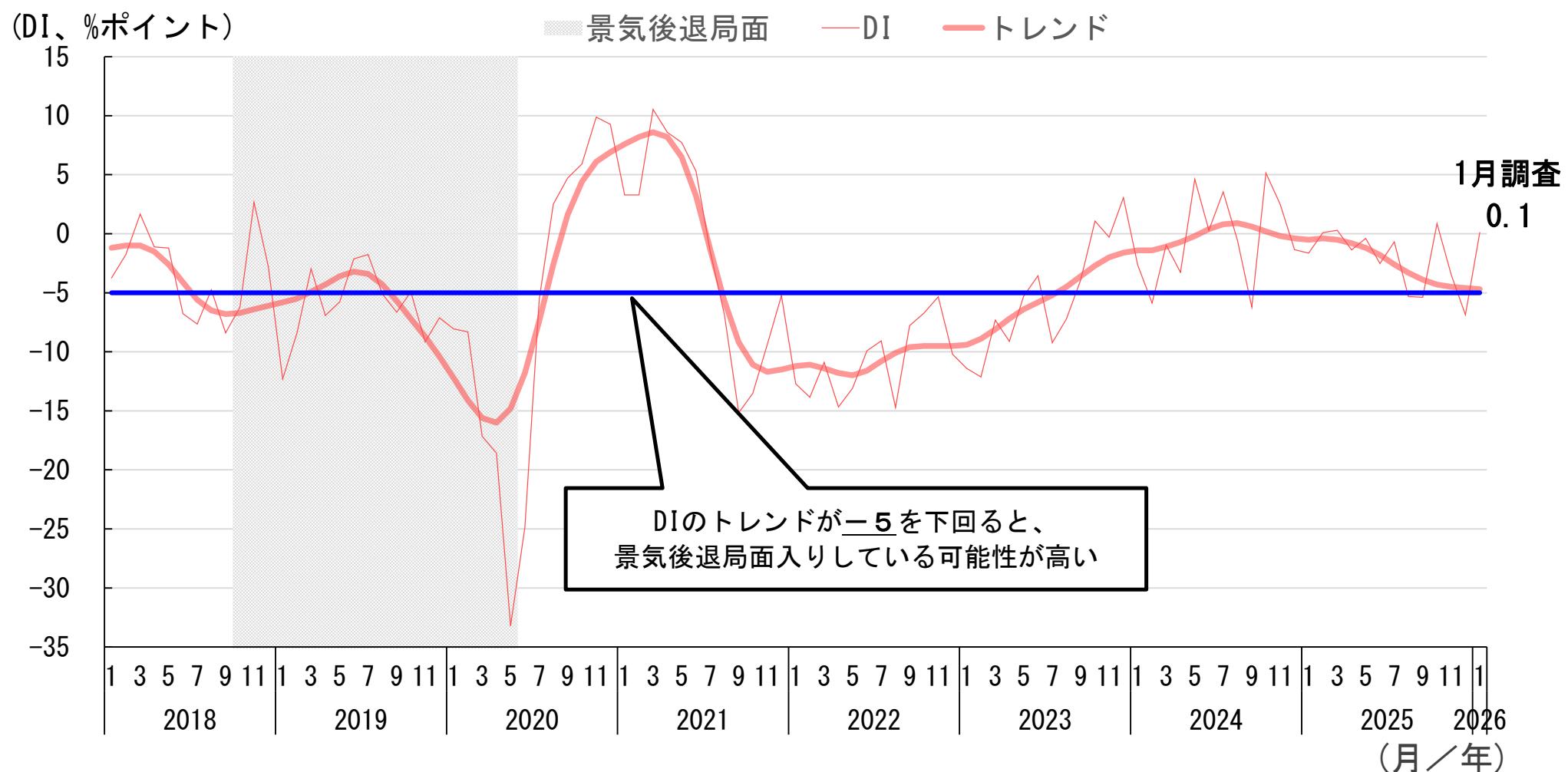
予測修正率の推移

- ・当月の生産計画が前回の生産計画からどの程度修正されたかを示したものが予測修正率となる。
 - ・今回の調査では、予測修正率は2.4%の上昇。
 - ・生産計画は3か月ぶりの上方修正となった。



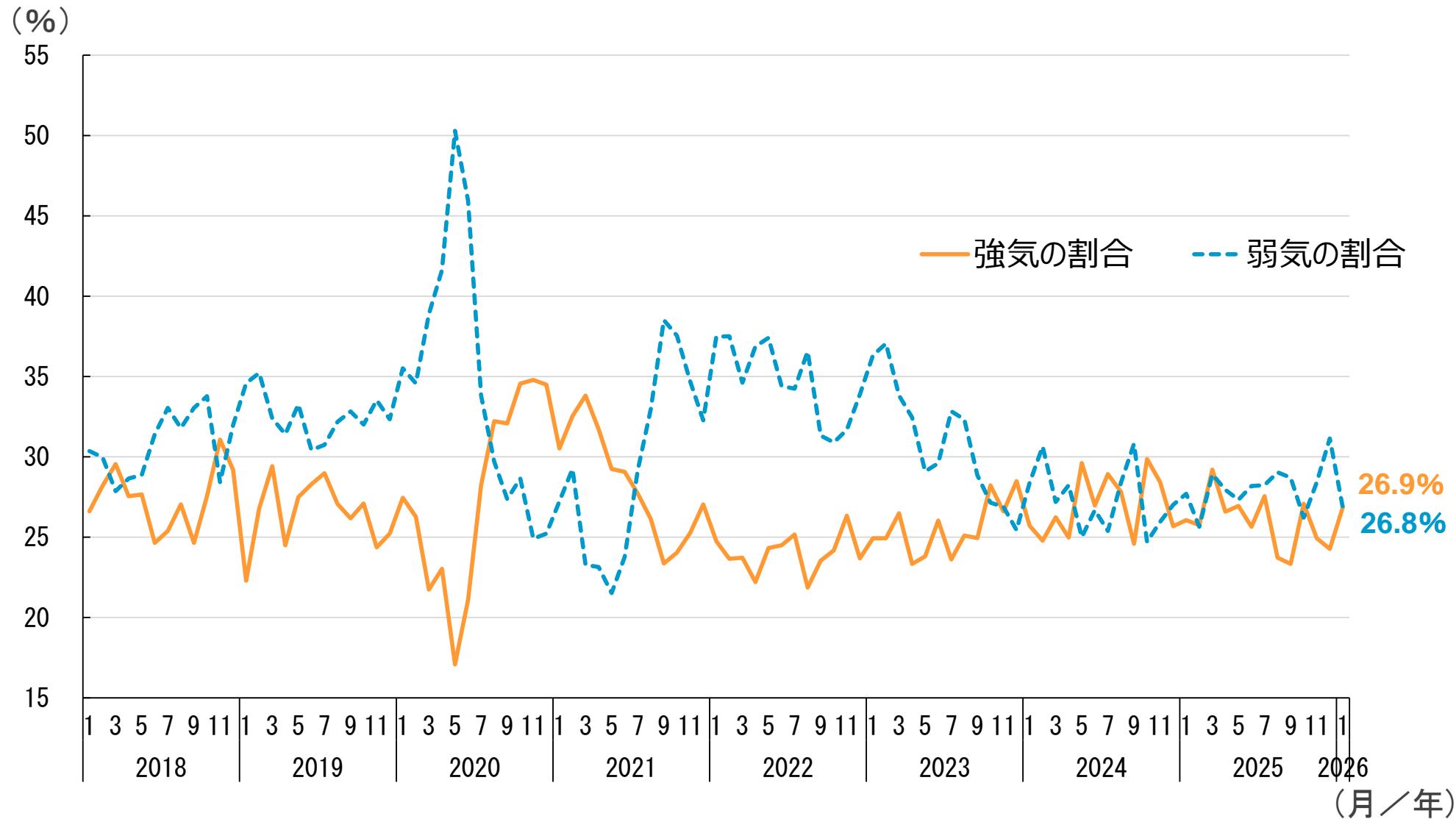
企業の生産活動に対する姿勢（生産活動マインド指標（D I ））

- ・生産計画を上方修正している企業の割合から下方修正している企業の割合を差し引くことで企業の生産活動マインドを指標（D I）化。
 - ・D Iのトレンドが-5を下回ると景気後退局面入りの可能性が高い。
 - ・1月調査結果のDIは、0.1（前月の-6.9から上昇）、トレンドは-4.7と-5を上回る水準。



強気と弱気の比率の変化

- 1月調査結果のDIの内訳をみると、強気が26.9%、弱気が26.8%となっている。12月と比べて強気の割合は増加し、弱気の割合は減少した。



2025年10-12月期(速報)各指標の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指標

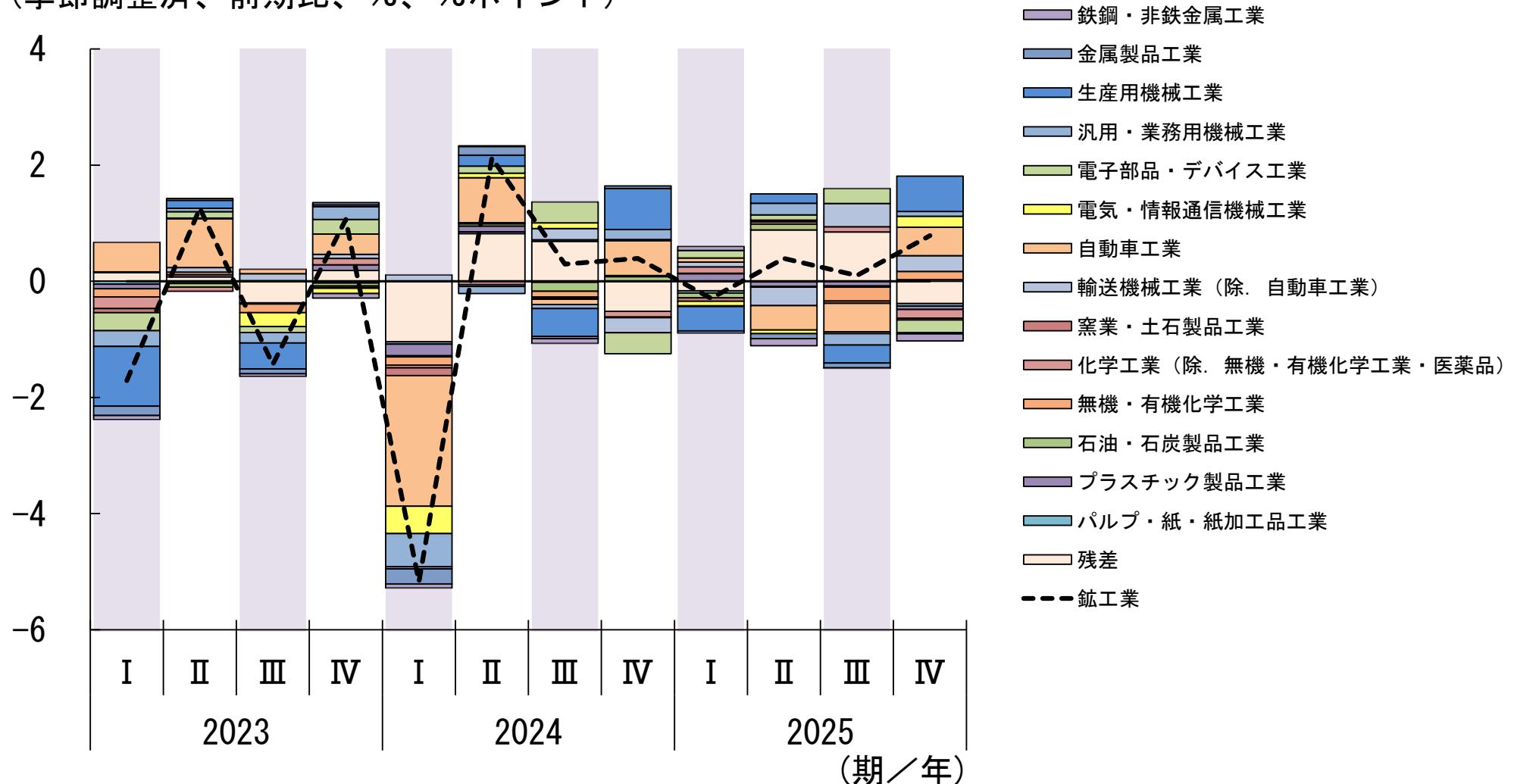
四半期	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指標	102.8	100.6	98.3	104.8
前期比	0.8%	0.8%	-1.6%	-2.3%
指標水準	2023IV 104.4以来 I 2018IV 115.5 II 2018II 114.6 III 2018I 114.4	2025II 101.1以来 I 2018II 115.8 II 2018I 115.0 III 2018IV 114.9	2021III 97.5以来 ①2021I 94.0 ②2020IV 94.7 ③2021II 95.4	2024I 103.8以来 ①2018I, II 85.2 ②2018IV 86.1 ③2018III, 2019I 86.5
前期比の動き	3期連続+ (2025II～当期)	2期ぶり+ (2025II以来)	2期ぶり- (2025II以来)	3期ぶり- (2025I以来)
前期比幅	2024II 2.1%以来 I 2020III 7.7% II 2020IV 5.9% III 2022III 3.1%	2025II 1.2%以来 I 2020III 8.2% II 2020IV 5.5% III 2024II 3.3%	2025II -2.8%以来 ①2020II -4.0% ②2020III -3.4% ③2025II -2.8%	2021I -4.7%以来 ①2020III -12.8% ②2020IV -7.9% ③2021I -4.7%
前年同期比(原指標)	0.7%(105.6)	0.3%(103.9)	-2.7%(96.1)	-1.7%(101.5)
前年同期比の動き	4期連続+ (2025I～当期)	2期ぶり+ (2025II以来)	9期連続- (2023IV～当期)	17期ぶり- (2021III以来)
前年同期比幅	2025III 0.7%以来 (超)2025II 0.9%以来 I 2021II 18.4% II 2021III 5.8% III 2022III 4.0%	2025II 0.5%以来 I 2021II 18.3% II 2022III 4.1% III 2021III 3.5%	2025II -3.1%以来 ①2021I -9.7% ②2020IV -8.3% ③2020III -6.0%	2021III -8.5%以来 ①2021II -23.3% ②2021III -8.5% ③2021I -7.9%

1) I～IIIは2020年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数前期比 業種別の影響度合い

- 2025年10-12月期の生産指数は、電子部品・デバイス工業などが低下したものの、生産用機械工業などが上昇したため、前期比0.8%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(注) 「残差」は、鉱工業生産全体の変動から主要14業種の影響度を差し引いたものである。

2025年(速報)各指標の状況
生産・出荷・在庫・在庫率指標

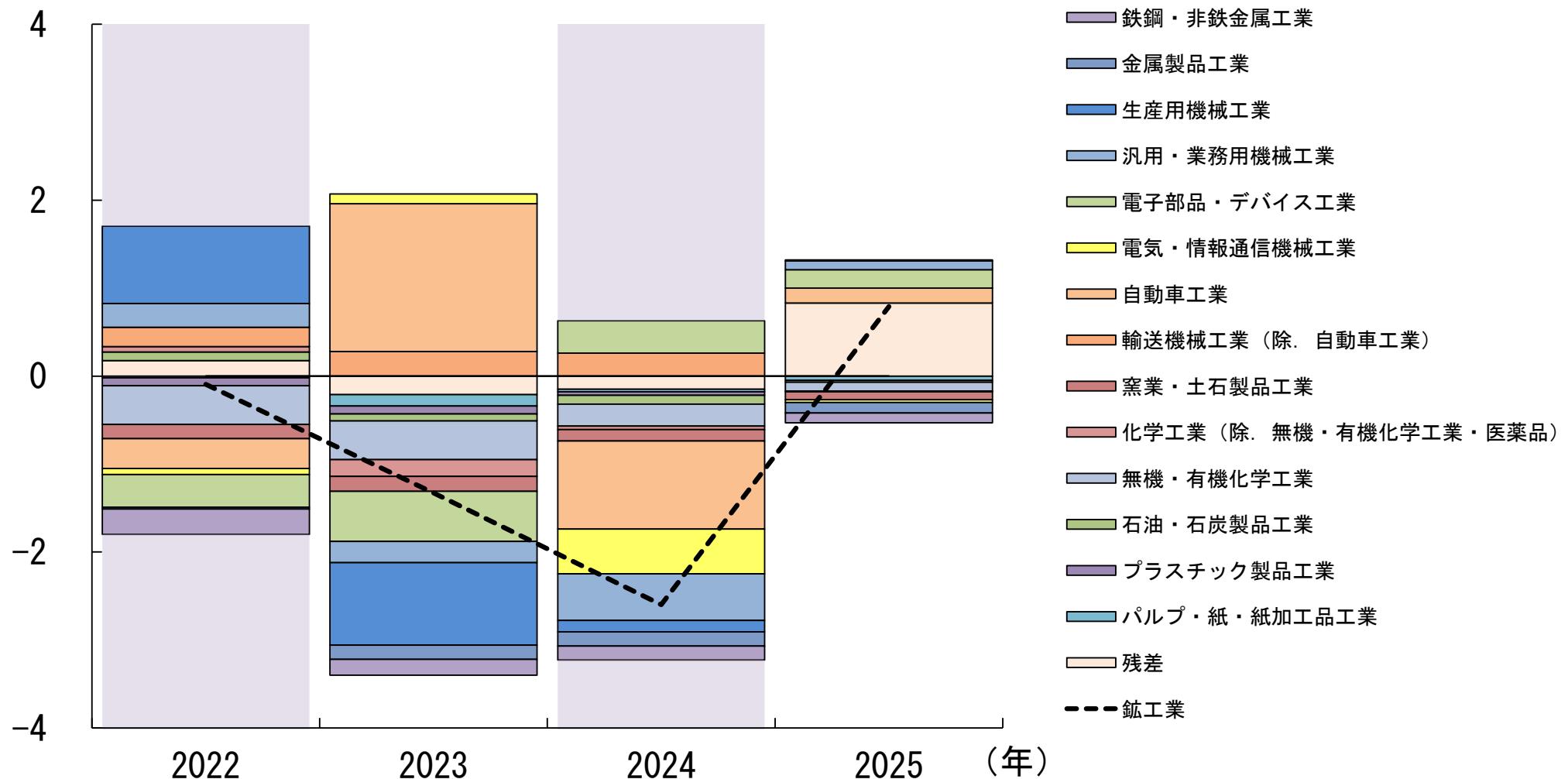
年次	生産	出荷	在庫	在庫率
原指標	102.0	100.3	96.1	105.9
前年比	0.8%	0.4%	-2.7%	-0.2%
指数水準	2023 103.9以来 I 2018 114.6 II 2019 111.6 III 2021 105.4	2023 103.2以来 I 2018 114.9 II 2019 112.0 III 2021 104.4	2020 92.6以来 ①2020 92.6 ②2025 96.1 ③2021 98.5	2023 104.0以来 ①2018 85.5 ②2019 89.5 ③2021 89.8
前年比の動き	4年ぶり+ (2021以来)	4年ぶり+ (2021以来)	3年連続- (2023～当年)	4年ぶり- (2021以来)
前年比幅	2021 5.4%以来 I 2021 5.4% II 2025 0.8% -	2021 4.4%以来 I 2021 4.4% II 2025 0.4% -	2020 -8.3%以来 ①2020 -8.3% ②2025 -2.7% ③2024 -1.9%	2021 -10.2%以来 ①2021 -10.2% ②2025 -0.2% -

1) I～IIIは2020年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数前年比 業種別の影響度合い

- 2025年の生産指数は、金属製品工業などが低下したものの、電子部品・デバイス工業などが上昇したため、前年比0.8%の上昇。

(前年比、%、%ポイント)



(注) 「残差」は、鉱工業生産全体の変動から主要14業種の影響度を差し引いたものである。